
2. 発表論文等

第2章に掲載した論文等は各団体から転載の許可を得て掲載しております。

なお、著作権は各団体に帰属するため、転載を禁じます。

2.1 論文・技術報告等

1) 植生基材吹付工施工後2年間の基材の耐侵食性	61
2) 日本における都市樹木のCO ₂ 固定量算定式	65
3) 1年間保存した森林表土の緑化材料としての利用可能性.....	72
4) 国営明石海峡公園における森林表土利用工による法面緑化の施工事例.....	83
5) 刈り取り管理の時期および回数が特定外来生物オオキンケイギクに 及ぼす影響と防除効果	89

2.2 学会・シンポジウム要旨

6) エコロードにおける動物移動施設の効果・検証	97
--------------------------------	----

2.3 雑誌・特集記事等

7) 緑化植物 ど・こ・ま・で・き・わ・め・る カツラ (<i>Cercidiphyllum japonicum</i> Sieb. et Zucc.)	101
8) オオキンケイギク植生管理実験における管理手法とその効果	102
9) 街路樹の根系と植栽基盤の現況.....	106
10) 道路土工指針の改訂と生物多様性.....	111
11) 水辺から見える都市—首都東京の基盤 江戸城外濠—	115

2.4 出典

2.1 ～ 2.3 に掲載した文献の出典は以下のとおりである。（掲載順に列挙）

2.1 論文・技術報告等

- 1) 細木大輔・柏木亨・松江正彦（2009）植生基材吹付工施工後 2 年間の基材の耐侵食性，日本緑化工学会誌，35（1）：126-129.
- 2) 松江正彦・長濱庸介・飯塚康雄・村田みゆき・藤原宣夫（2009）日本における都市樹木の CO₂ 固定量算定式，日本緑化工学会誌，35（2）：318-324.
- 3) 細木大輔・松江正彦（2010）1 年間保存した森林表土の緑化材料としての利用可能性，日本緑化工学会誌，35（3）：462-472.
- 4) 久保満佐子・細木大輔・松江正彦（2010）国営明石海峡公園における森林表土利用工による法面緑化の施工事例，日本緑化工学会誌，35（3）：473-478.
- 5) 畠瀬頼子・小栗ひとみ・松江正彦（2010）刈り取り管理の時期および回数が特定外来生物 オオキンケイギクに及ぼす影響と防除効果，ランドスケープ研究，73（5）：421-426.

2.2 学会・シンポジウム要旨

- 6) 園田陽一・武田ゆうこ・松江正彦（2010）エコロードにおける動物移動施設の効果・検証，日本生態学会第 57 回全国大会講演要旨集：P3-050.

2.3 雑誌・特集記事等

- 7) 久保満佐子（2009）緑化植物 ど・こ・ま・で・き・わ・め・る カツラ (*Cercidiphyllum japonicum* Sieb. et Zucc.)，日本緑化工学会誌，34（4）：658.
- 8) 小栗ひとみ・畠瀬頼子・松江正彦（2009）オオキンケイギク植生管理実験における管理手法とその効果，土木技術資料，51（8）：26-29.
- 9) 飯塚康雄（2009）街路樹の根系と植栽基盤の現況，日本緑化工学会誌，35（2）：262-266.
- 10) 松江正彦（2010）道路土工指針の改訂と生物多様性，日本緑化工学会誌，35（3）：413-416.
- 11) 阿部貴弘（2010）水辺から見える都市—首都東京の基盤—江戸城外濠—，土木学会誌，95（2）：20.